

福島の実現—福岡百子の声

2014年1月10日号

謹んで、初春のご祝詞を申し上げます。

お一人お一人の上に神さまが豊かな恵みで包んで下さり、あらゆる危険や不安から身をお守り下さり、常に皆さまを支え、必要な知恵と悟りをお与え下さり、日々、健やかに過ごされますよう心からお祈り申し上げます。

これまで、福島被災者支援の為に、お心を寄せていただき、本当に有難うございました。本年もお世話になります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

新年に当り、本来なら明るい楽しいニュースをお伝えしたいのですが、今日も、福島の今の現実をお伝えさせていただきます。

新年になり、各地の被災者の方々から私宅に毎日電話が入って参ります。下記に被災者の生の声を書かせて頂きます。その声に、皆さま、しばらく耳を傾けて下さい。

・僕達は、とても年賀状を書く気にはならない。だけど年賀状をもらって、とても嬉しかった。気にかけてくれている人が居るって、嬉しいよ！

・仮設住宅の6畳1間、4.5畳2間に4人で住んでいます(母、高1(男)、14才(女)、12才(男))。4人一緒に食卓を囲むだけのスペースがありません。上の子は知的障害者です。空いている仮設があればと交渉していますが見通しがありません。そうかと言って、中古の家に移りたくてもお金がありません。復興住宅を期待しているけど、いつになるのでしょうか？家賃が安ければ良いのですが。がんばります。(福岡註：その声は暗く、力ありませんでした。)

・夫が亡くなりました。妻が亡くなりました。いとこが亡くなりました。と、沢山の方々から死去の知らせがあり、私は言葉に詰る新年でした。

・南相馬の仮設に住んでいます。ここは0.3マイクロシーベルト毎時となっています。ここに子供も住んでいます。国は大丈夫と言います。しかし私は国の言うことは信用していません。実際、国の大臣も議員も町の議員の人も誰も現場に来ていません。現場も見ず、我々の声も聞かない。その上で、平成28年4月に全員帰還にしたい、と言っています。とでもないことです。実際、南相馬市小高区は、未だ空間放射線量が高い。最近まで「泊ってはならない」と言っていたのに、「12/24～1/6まで宿泊OK」と言ってきました。その言葉を信じ、14日間泊って来た人もいます。未だ除染し

ていない小高に、と、私は心配しています。そして今年の 8 月頃には帰れるようになるとも言われています。私は、とんでも無いと怒っているのです。

日帰りで自宅に戻ると、荒れ果てた自宅を見て、皆、力を落とし、失望して仮設住宅に帰るので。それでも、年配者たちは「仮設より良い」と言って、自宅に帰りたがっています。あるいは「先祖代々の家と墓を守りたい」と言って帰りたがる人も居るのです。

自宅のある南相馬市から東京・千葉方面に来たいと思っても、6 号線は通行許可書なしには通れません。常盤線も不通です。2カ所の駅舎が未だ復興していません。

今、海岸沿いの様子はどうなっているでしょう。一見、一面砂浜のように何も無く「まったいら」な砂浜の様子だけが見られます。しかしそこは、いくつもの部落があった場所であり、農地もそこにありました。その砂の下にはコンクリートの電柱や様々なものが埋っています。それを掘り起こして農地にするには何年もかかり、簡単ではないでしょう。防波堤も壊れたままです。3.11 のあの日から手付かずでいる、何ひとつ復興していない場所。それが、南相馬市の海岸線です。

・私たちは生殺しです。

・福島には支援が来なくなりました。

・もと住んでいた浜通りは温かかったのです。それと比べて、避難先はとても寒い。1 月 2 月は凍結している。こんなことは、故郷にはなかったのですが。

以上が新年になって、私宅にお電話をいただいた被災者の皆さんの生の声です。福島の方は、放置されているように見えます。国はどんな役割を演じているのでしょうか。

私は今、インド、パキスタンの 16 才の少女、マララさんのことを考えています。NHK「クローズアップ現代」での独占インタビューでの素顔。腫れ上がった痛々しい顔、具合の悪そうな顔色。恐らく起きているのも辛い状態でしょう。彼女はわずか 16 才です。銃弾に倒れつつ、何度も手術に耐えつつ、訴えることを訴えておられる。社会を見据えた展望と社会への示唆、そして自己の役割など。16 才とは思えないほど、みごとなまでの強靱な魂、凛々しい立ち振る舞い。私は彼女に神々しささえ感じています。私は、彼女はこの世の宝と申しましたし、私達は皆、彼女から生き方を学ばなければならないと思いました。

今年もどうぞ、宜しく願い申し上げます。

支援のお願い：

原発事故被災者の方々から、冬服、ボアシャツ、毛布、下着、靴下、ホカロン、生活消耗品、米、調味料、食品、大人用紙オムツ、紙パンツ、尿とりパットの要請があります。ご寄付いただければ、お届けすることができます。どうぞ宜しく願い申し上げます。